

★私とユメリア物語★

「私とユメリア徳重物語」「冠バッジのエピソード」というPR部からの募集の呼びかけに作文8件、冠バッジイラスト6点のご応募をいただきました。心より感謝申し上げます。50号～52号に分けてご報告します。

夢を語り合った「まちづくり」 刈谷隆（サポータークラブ会員）

私が緑区に引っ越してきたころ緑区東部に「東部まちづくりの会」が発足し、様々なまちづくりの夢を語り合いました。

数年後に徳重支所が建設される計画が発表され、名古屋市で初めての複合施設（支所・保健所・図書館・地区会館・区民プラザ）ができるという、嬉しい夢が広がりました。「東部まちづくりの会」は、この発表を受けて、『楽しくまちづくりを進めるために』と題し、何回か集いを開催しました。

そして緑区役所総務課主催によるワークショップが5回ほど開催されました。ワークショップには30人～50人が参加し、ユメリア徳重の建設プランを討論し、夢を膨らませていきました。ワークショップの一環として、様々な先進施設を視察してきました。その活動の中で、ユメリア徳重を見守るボランティア（サポータークラブ）のかたちが明らかになっていきました。

平成22年2月24日に緑文化小劇場で区民プラザ・ユメリア徳重オープン記念『区民ワクワク夢ひろば』が開催され、500人を超える区民の参加があり共に喜び合いました。同時に「ユメリア徳重ニュース」が創刊されました。

サポータークラブが発足して早いもので16年になります。いくつになっても夢をもって生きていきたいものです。体がだんだん言うことをきかなくなってきました。しかし区民の皆さんに喜んでもらうことをしているという誇りは、人間としての誇りであり、生きがいでもあります。まだまだ頑張りたいものです。

私の大切な品 原弘子（サポータークラブ会員）

徳重支所ができる前に、緑区役所で「ボランティア」をさせていただきました。そんな折に、緑区制50周年記念で制作された緑区マスコットキャラクター「みどりっち」のぬいぐるみを頂きました。その後の制作は予算の関係で無くなったとか。そのような貴重なぬいぐるみと一緒にユメリア徳重に移動し、現在も「みどりっち」と共にサポーターとして活動しています。

活動する中で大切なことは、「安全」だと思います。実際に来訪者さんのケガの手当を行ったこともあります。それをきっかけにオフィスに「ミニ救急パック」を備えていただいたので、その後も安心して見守り活動を行うことができます。



ユメリアと私 三浦正典（サポータークラブ協力会員）

真夏の陽射しが燦々（さんさん）と降り注ぐ日だった。いつもの様に、趣味の執筆活動をする為に、区民プラザのテーブルに腰を下ろした。そして、紫色部と対面するシーンを書いている最中、ふと「光の庭の植物」達が脳裏を掠（かす）めた。取り分け、秋には薄紫色の小さな実をつける「ムラサキシキブ」の鉢植に注目する為に席を立った。中庭の光の庭にも漏れなく夏の陽射しが眩しかった。

「ムラサキシキブ」と書かれたネームプレート（ラベル）を見た。咄嗟（とっさ）に脆（あやう）さを感じた。鉢の土が乾き、ムラサキシキブが喘（あえ）いで見えた。「水をくれ、助けてくれ」と恰（あたか）も言ってる様に私の心の耳に聴こえた。躊躇（ちゅうちょ）しなかった。窓越しに緑色の「ビブス」を着ておられた女性（上條さん）にお聞きした。「水やりをさせてもらえませんか？」笑顔で大歓迎と言われた。

そして支所の方から、親切丁寧な説明を受けた。こうして、水やりでサポータークラブの皆さんと繋がった。いや、仲間に入れていただいた。

